

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和2年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
阿賀野市	水道事業	—	—

### 実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							○

### 現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

現時点において、令和元年度決算で約1億2千万円の純利益を計上することができ、資金の保有状況についても十分であると言えます。  
 しかしながら、将来的には給水人口の減少等により、料金を現行水準で行った場合、早い段階での損益悪化・資金ショートが発生し事業経営の継続が困難となります。  
 そこで、令和元年度に見直しを行った「阿賀野市新水道ビジョン 第1次中間報告」の中で長期財政収支予測を行い、料金改定を行うことで安定的な経営を継続することが可能であると予測しております。  
 よって、事業の実態に即した施設の統廃合やダウンサイジングを検討しながら、今後も現行経営体制・手法で、健全な事業運営が実施できるものと考えております。